

本学が新規提供するGLPに基づく顧客ニーズに合わせた吸入毒性試験スキーム

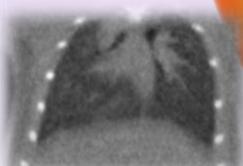
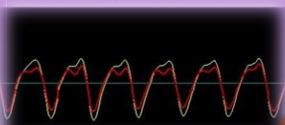
Novel scheme of GLP-based inhalation toxicology study
proposed by Azabu university.

福山 朋季 講師
麻布大学 獣医学部 薬理学研究室

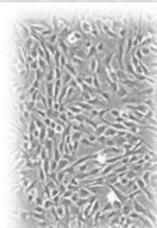
Tomoki Fukuyama / Assistant Professor
School of Veterinary Medicine / Laboratory of Veterinary Pharmacology

麻布大学では、株式会社イナリサーチとVivotecnia社と連携した新しい吸入毒性検査スキームをご提案します。農薬および化学物質の安全性評価の重要性が高まっております。我々が提案するスキームにより登録用のGLP試験はもとより、候補化合物のスクリーニングを、化合物性状、予算、動物愛護等、委託者側の要望に合わせて提案します。

麻布大学では、3次元モデル等を用いたin vitroスクリーニング試験を実施しております。ご要望に応じた、各種疾患モデルを用いた毒性機序評価も実施可能です。



株式会社イナリサーチでは、げっ歯類および霊長類の吸入毒性評価をネブライザー、気管内投与で行っております。CTスキャンを用いたin vivoイメージングも可能です。



上記以外にも我々の研究室では以下の共同研究を実施しております。

1. 犬猫の口腔対策商品の開発・検査・コンサルティング
2. 犬やヒトの皮膚疾患ケア商品・医薬品の開発・検査・コンサルティング
3. 麻布大学独自の乳酸菌を活用した商品開発

